

落ち着いて！

緊急時にまず行うこと

あわてない

安全の確保

正しい通報

岩手大学

人が倒れている！

(意識がない場合)



倒れている人に声をかける

肩をたたきながら

大丈夫ですか！

大きな声で、助けを求める

人が倒れています
誰か来てください

119番へ通報

救急です
岩手大学構内です
私は、〇〇〇です

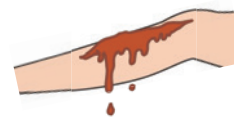
正門警備室へ連絡
019-621-6110

救急へ通報しました
〇〇〇で人が倒れています

救急車が到着するまで、救命措置を試みる



人がケガをしている！



安全な場所に移す

応急対処ができる状態か？

できない

119番へ通報

救急です
岩手大学構内です
私は、〇〇〇です

正門警備室へ連絡
019-621-6110

救急へ通報しました
〇〇〇で負傷者がいます

救急車が到着するまで応急対処を試みる

出血している場合

傷口の上に、清潔なガーゼやハンカチなどをあて、強く押さえる = 直接圧迫止血法

火傷をしている場合

流水で感覚がなくなるまで冷やす
ひどい火傷の場合は、水の勢いを強くしないで衣服は脱がさずにその上から冷やす
(皮膚もはがれてしまうため)



火事だ！



大きな声で、周りに知らせる

火事だー！



身の安全を確保する

負傷者の有無を確認する

119番へ通報

火事です
岩手大学構内です
私は、〇〇〇です

正門警備室へ連絡
019-621-6110

消防へ通報しました
〇〇〇で火事です

消防などが到着するまで初期消火を試みる

身の安全を確保し、単独では行わない

- ・可燃物を遠ざける
- ・ガスの元栓を閉める



化学薬品による 事故を防ぐために

1) SDS (安全データシート)を確認する

自分を取り扱う化学薬品のSDSを準備して、取扱時の注意事項や緊急時の対応を、事前に確認しておく。



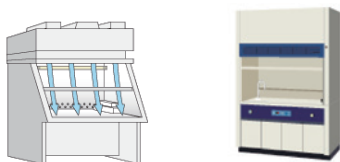
2) 保護具は必ず装着する

取り扱う化学薬品のSDSを確認して、必要な保護具は必ず装着する。



3) 局所排気装置を使用する

化学薬品の取り扱いは、局所排気装置の中で行うことを徹底する。



!! 重 症 !!

(爆発や破裂による負傷・やけど)



まず負傷者の安全を確保

次に、
119番へ通報



救急です
薬品が爆発して負傷者がいます
岩手大学構内です
私は、〇〇〇です

正門警備室へ連絡
019-621-6110



救急へ通報しました
〇〇〇で負傷者がいます

保健管理センターへ連絡(9:00~17:00)
019-621-6074

〇〇〇で負傷者がいます
救急車を手配しました
到着まで、応急処置を
お願いします

化学薬品が身体に付いた

～ 皮膚に付いた～

十分な流水で流す

↓
薬品のSDS (安全データシート)
を準備する

↓
保健管理センターへ連絡
(9:00~17:00)
019-621-6074

～ 目に入った～

非常用シャワー (洗顔器) で
目を洗う

↓
薬品のSDS (安全データシート)
を準備する

↓
保健管理センターへ連絡
(9:00~17:00)
019-621-6074

～ ! 全身に浴びた! ～

非常用シャワーで、全身を流す

↓
薬品のSDS (安全データシート)
を準備する

↓
保健管理センターへ連絡
(9:00~17:00)
019-621-6074

AEDの設置箇所

(岩手大学防災マップ)



<https://www.iwate-u.ac.jp/upload/images/campus-bosai.png>